

1 事業実施の方針

特定非営利活動法人スバ・ランカ協会は、スリランカと日本両国の相互理解を促すこと、スリランカ人の抱える問題の改善・解決を図ることを目的に、下記の事業を実施する。具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、スリランカよろず相談窓口事業、スリランカにおける地域振興と環境保全を図る事業、スリランカの子どもを対象とした教育振興事業、スリランカの物産の紹介と普及事業を実施する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

<ア> スリランカよろず相談窓口事業

(ア)	事業内容
	① 立命館大学のボランティア・サークル「自立のための道具の会京都」スリランカ班の活動を補助した。 ② カシューナッツの殻から抽出されるオイルには、筋萎縮性側索硬化症(ALS)に効くアナカルジン酸が多く含まれているが、そのオイルの抽出をしてくれる企業を探した。これは「NPO&企業協働アイデアコンテスト」(中部圏社会経済研究所&パートナーシップサポートセンター主催)に応募した結果、5万円の補助を得られたからである。現在、岡崎市のとある油脂株式会社と交渉中である。
(イ)	実施日時 ① 平成26年9月 ② 平成26年11月～27年3月
(ウ)	実施場所 ① スリランカ ② 名古屋市、岡崎市
(エ)	従事者の人数 ① 2名(スリランカ事務所代表インドラナダ和尚、会長大岩碩) ② 3名(会長大岩、副会長 新海啓一、理事 小林裕幸)
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 ① 学生7名 ② これからです。
(カ)	費用 ①と② 計 17,270円(内訳) 交通費 10,540円、通信費 3,000円、打合せ会合費 3,730円
(キ)	収益 ① 0円 ② 51,040円 計 51,040円(内訳) 中部圏社会経済研究所からの助成金

<イ> スリランカにおける地域振興と環境保全を図る事業

(ア)	事業内容
	① スバ・ランカ農園のカシューナッツ栽培については天候不順に悩まされたが、これに対処するために、農園において初めて堆肥生産を開始し、鶏糞を入れたため何とか持ちこたえた。ヤシ栽培は、昨年度、公共の井戸を専用することが可能になり、給水を確保したのが功を奏し、順調である。 ② あいちモリコロ基金からの助成金を基に、キャーガッラ県ガラピタマダ郡アルピティヤ村のチャミット氏宅に、堆肥・エコガス生産研修センターを建設した。周辺の村に堆肥生産を普及させ、エコガス生産の意義を理解させる活動の基盤ができた。また、日本の有機農業を行う青年との交流の場も整った。
(イ)	実施日時 ①、② 平成26年4月～平成27年3月
(ウ)	実施場所 ① ブッタラマ県第10カヌワ ②キャーガッラ県ガラピタマダ郡アルピティヤ村
(エ)	従事者の人数 ①3名(インドラナダ和尚、農夫チャンダヤ、補助者) ②チャミット氏ほか10数名
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 ①協会のカシューナッツ・オーナー及び農園管理者と補助者 約190名 ②これからです。
(カ)	費用 1,256,985円 ① 421,920円(内訳) 労賃 260,000円、謝金 80,000円、設備資材(木材、肥料含む) 61,400円 交通費16,200円、打合せ会合費 4,320円、 ② 1,175,793円(内訳) 建築資材 374,750円、機材 158,900円、労賃 108,000円、輸送運送 17,000円 給与(平成27年度分)360,000円、研修経費(前に同じ)20,000円、交通費32,143円、通信費 5,000円 ※労賃は実際には288,000円かかったが、現地青年の労力奉仕により180,000円分が軽減された。 ※給与と研修経費は平成27年度支出であるが、予め給付した。給与はセンター職員2名1年分である。
(キ)	収益 ① 208,060円(内訳)カシューナッツ販売(スリランカにて)168,060円、新規オーナー8名 40,000円 ② 990,000円(内訳)モリコロ基金展開期活動助成金 990,000円

<ウ> スリランカの子どもを対象とした教育振興事業

(ア)	事業内容
(1)	子どもたちの教育支援
	① デニヤーヤ地方の紅茶園では、学校に行けない、行かないインド・タミル児童が2014年1月で320名ほどいる。こうした子供たちは読み書きを教える識字学級に通っている。こうした学級の現状を調査した。また、ARTIC(玉名市NPO)が同学級の保護者を対象とした「子供に教育を受けさせる重要性を説く講習会」の運営を手伝った。さらに、立命館大学の学生が行った識字学級での聞き取りに際して、通訳として協力した。及び、当地の教育委員会に手洗い場を作り寄贈した。 ② デニヤーヤ地方のシンハラ人小学校において井戸を建設し、寄贈した。この小学校では飲み水等

	<p>の水が全くなく、家から持参しなければならぬ状況にあった。学校へ2時間かかってくる子もいた。</p> <p>③ バランゴダ地方の紅茶園にあるインド・タミル小学校では、立命館大学の学生が何を必要としているかを聞き取りし、文房具贈呈等の支援活動を続けている。当学校の校長から、電気を引きたいとの要請があったが、学生サークルには資金がないので、代わりに、ジェネレーターを買って贈呈した。</p> <p>④ ガラピタマダ地方のゴム園のインドタミル小学校2校(パッレーガマとドゥヌマラ)を訪れ、文房具などを贈呈し、日本文化(書道、日本の童謡、盆踊りなど)を伝えた。これは、協会が企画したボラ No.2 ティヤ親善旅行の一環として行ったものである。</p> <p>⑤ ガラピタマダ地方の幼稚園において、「東南アジアに学校を造る会」(和歌山県新宮市宝珠寺)から頂いた助成金35万円をもとに2基、積水マッチングプログラムからの基盤助成金の一部10万円を使って1基の汚水処理付きトイレを建設し、寄贈した。当地方の幼児教育支援の一環である。</p>
(2)	<p>スリランカで日本語を学ぶ生徒・学生への支援</p> <p>① ガラピタマダ地方アルピティヤ村のチャミット宅に、スパ・ランカ日本語研修センターを開設した。ここで、3年前から始めた日本語クラスをより充実させるために、現在ここで日本語教師をしているサチニさんに教育奨励金を授与した。</p> <p>② 日本語を学ぶシュリーパーリ高等学校、サバラガムワ大学、真珠日本語センターの生徒・学生に、和英・英和辞典、電子辞書を寄贈した。</p> <p>③ スリランカの若い日本語教師たちに日本語教材と日本語能力試験問題集を贈呈した。これは、会員の岡田こずえ先生の所属する日本語ボランティア団体「えひめJASL」と田中先生から寄贈されたものである。また、3Aネットワーク株式会社様より、大量の日本語教育教材を頂いた。これは会員の品川雅子先生の仲介によるものであるが、これらをスパ・ランカ日本語研修センター(校長:チャミット氏)に寄贈した。問題集については、その一部を新たに購入して贈呈した。</p>
(3)	<p>スポーツ教育の振興(バレーボール)</p> <p>スパ・ランカ協会スポーツ教育振興部長の茂木一美さんが『雑草の会』のメンバーの方々から寄贈されたバレーボール用具をスリランカに輸送し、現地の学校に贈呈した。自ら、9月24日にスリランカに赴き、生徒たちにバレーボールを指導した。用具は4月に現地に届けられた。なお、輸送費用は、茂木氏の寄付による。協会は贈呈先の学校、クラブを選定し、バレーボールの実地指導の補助ができる通訳者を紹介した。</p>
(イ)	実施日時 (1)、(2)平成26年7月～平成27年3月、(3)平成26年4月～9月
(ウ)	実施場所 (1) マータラ県デニヤヤ地方、ラトナプラ県バランゴダ地方、キヤーガッラ県ガラピタマダ地方 (2)ホラナ県ホラナ市、ラトナプラ県バンバヒンナ、ガンパハ県 (3)ニッタンブワ市域
(エ)	従事者の人数 (1) Y.ヴィパッシ師、ジャヤンタ氏、識字学級教師2名、チャミット氏、会長大岩インドラナダ師、副会長新海啓一、親善旅行参加者29名計37名 (2) 会長大岩、チャミット氏、インドラナダ師 計3名 (3) 茂木一美、インドラナダ師、会長大岩 計3名
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 (1)インド・タミル児童70名、識字学級保護者30名、幼児60名 (2)日本語クラス生徒58名、高校生18名、大学生23名、日本語教師5名 (3)バレーボールをしている生徒約80名
(カ)	費用 860,928円
(1)	663,536円
	①と② 100,609円 内訳)建築資材(井戸)15,000円、労賃25,000円、建設資材(洗面所)6,500円 交通費 27,220円、宿泊費 20,259円、打合せ会合費 6,630円
	③ 51,164円 内訳)発電機 47,000円、交通費 3,637円、打合せ会合費 527円
	④と⑤ 540,321円 内訳)建築資材 182,311円、設備資材 70,773円、労賃 242,044円、輸送運送費 42,273円、通信費2,920円
(2)	①と②と③ 87,112円 内訳)輸送運送費(日本から及びスリランカ国内)30,442円、通信費 1,350円、交通費 3,890円、教育奨励金50,500円、打合せ会合費930円、書籍8,558円
(3)	2,000円 内訳)通信費 2,000円
(キ)	収益 450,000円
(1)	①～④0円 ⑤450,000円(東南アジアに学校を造る会及び積水基盤助成)
(2)	0円
(3)	0円

<エ> 日本とスリランカ両国の相互交流推進事業およびボランティア支援事業

(ア)	事業内容
①	「シンハラ語を学んでスリランカに行こう」というボランティア親善旅行を、2回企画し、ガラピタマダ地方のゴム園インドタミル小学校とジャヤマダ教育センター、ガンパハの真珠日本語センターの生徒と交流し、文房具寄贈等を行い、日本舞踊、民謡、書道、盆踊りなどの日本文化を紹介した。
②	会員のK氏が企画した「大学生ボランティアツアー」に関して、愛知県の大学生がスリランカの農村でのトイレ建設作業に参加できるように、トイレ建設の資金を提供し、ホームステイ先を確保した。資金として積水マッチングプログラム基盤助成金の一部をあて、チャミット氏宅でホームステイをした。

(イ)	実施日時 ①平成26年9月24日～10月1日及び平成27年3月18日～27日 ②平成27年3月2日～9日
(ウ)	実施場所 ① ニッタンブワ→ガラピタマダ郡アルピティヤ村→アヌラーダブラ→シーギリヤ→キャンディ→ジャフナなど ② ニッタンブワ→ガラピタマダ郡アルピティヤ村→キャンディ
(エ)	従事者の人数 ① 2名(会長大岩、副会長新海) ②2名(インドラナンダ師とチャミット氏)
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 ①ツアー参加者延べ29名 ②NF大学学生6名
(カ)	費用 ①と②100,000円(内訳)、交通費40,000円、宿泊費(ホームステイ)60,000円
(キ)	収益 ① 0円 ② 100,000円(積水マッチングプログラム子ども基金基盤助成)

<オ> スリランカの物産の紹介と普及事業

No.3

(ア)	事業内容 紅茶とカシューナッツの配布(随時)
	スリランカマックウッド社の紅茶とスパ・ランカ農園のカシューナッツを希望者に随時配布した。
(イ)	実施日時 平成26年4月～平成27年3月
(ウ)	実施場所 東海3県、関東、北海道
(エ)	従事者の人数 2名(会長大岩ほか理事1名)
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 会員及びカシューナッツ・オーナー約100名
(カ)	費用 79,699円 (内訳)物産購入費39,597円(紅茶25,897円 カシューナッツ13,700円)、郵送費 40,102円(国内含)
(キ)	収益 0円

<カ> スリランカを紹介する広報啓発事業

(ア)	事業内容
	① シンハラ語入門講座を開講した。 ② スリランカ・カレー教室を開催した。 ③ シンハラ語入門、スリランカ初級検定を実施した(全国初)。
(イ)	実施日時①平成26年4月～平成27年3月(名古屋20回、岡崎10回の計30回及び美浜1回、京都2回) ②平成26年6月29日と7月13日 ③ 平成26年11月3日
(ウ)	実施場所 ① 名古屋西生涯学習センター、おかげぎニュース編集室(サロン・デ・クララ)、日本福祉大学、立命館大学 ②名古屋東生涯学習センター及び名古屋西生涯学習センター ③国際センター
(エ)	従事者の人数 ① 2名(会長大岩、副会長新海) ②5名(理事小林、理事廣間、会長大岩、副会長新海、講師レーヌカーさん) ③ 2名(会長大岩、副会長新海)
(オ)	受益対象者の範囲及び人数 ① 23名 ② 参加者 延べ27名 ③ 両検定合わせて36名
(カ)	費用 186,150円 ① 130,300円(内訳)施設使用料27,800円、教材印刷代金 30,000円、交通費 72,500円 ② 27,900円(内訳)施設使用料 4,800円 材料費16,100円 通信費1000円 交通費6,000円 ③ 27,950円(内訳)施設使用料 12,150円、印刷代金 5,800円 通信費 8,000円、交通費2,000円
(キ)	収益 207,000円 ① 108,000円(内訳)受講料 1人300円×30回×12名 ② 27,000円(内訳)参加費用 1人1,000円×27名 ③ 72,000円(内訳)参加費用 1人2,000円×36名

3 会議の開催に関する事項

1) 総会

ア 通常総会

(ア) 開催日時及び場所

平成27年5月10日15:00～16:30 名古屋市女性会館 小会議室

(イ) 議題

- ① 平成26年度事業報告書の承認について
- ② 平成26年度活動計算の承認について
- ③ 平成27年度事業計画について
- ④ NPO法人アースアズマザーズとの協働について(青年農業者の交流)
- ⑤ その他

2) 理事会

ア 第1回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成27年2月15日16:00～18:30 名古屋駅 松岡ビル サイゼリヤ

(イ) 議題

- ① スバ・ランカ日本語日本センター開設について
- ② 上記開設に伴ってクラウドファンディングに応募するか否かについて
- ③ NPOアースアズマザーとの連携について(日本とスリランカの青年農業者の交流及び有機農業の振興)
- ④ その他

第2回理事会

(ア) 開催日時及び場所

平成27年5月10日13:30～14:30 名古屋市女性会館 小会議室

(イ) 議題

- ① 平成26年度通常総会提出議案について
- ② その他